

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	言語と芸術（文学）					学期	曜日	校時
英語名	Language and Art (Literature)							
担当 教官名	勝俣 隆	単位数	2単位	必修 選択	選 択	前期	水曜日	3校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>日本最古の文学である『古事記』を読解して、日本神話を解釈・鑑賞する。八俣大蛇（やまたのおろち）や因幡（いなば）の素戔（しろさぎ）、天（あま）の石屋戸（いわやと）、海幸山幸（うみさちやまさち）の神話等、誰でもが知っているような物語は古事記に載っている。これらの神話等が、古事記の中でどのように描かれ、どう理解したら良いのかを考えたい。さらに、古代人の想像力の豊かさに触れ、外国の神話とも類似する不思議さを感じて、神話的発想の面白さを味わってもらえればと思う。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>テキスト『古事記（上）』全訳注（次田真幸、講談社学術文庫207）（全員購入されたし） 参考図書『星座で読み解く日本神話』（勝俣 隆、大修館書店、あじあブックス23）（希望者のみ）</p>								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全 学 部	定期試験、小レポート、出席状況による総合評価。							
授 業 計 画								
<p>以下のような配分を予定している。ただし、若干前後する可能性もあるが、了承されたい。</p> <p>第一回 授業方法・内容についての説明。及び、古事記と日本神話の概略について。 第二回 天地の初めと淤能碁呂島（おのごろしま）・・・天地開闢（かいびやく） 第三回 二神の国生み・・・イザナキ・イザナミの結婚による日本の国土創生 第四回 二神の神生みと火の神誕生・・・火と死の始まり。 第五回 黄泉の国・・・死者の国への異郷訪問。 第六回 禊祓（みそぎはらえ）と三貴子誕生・・・太陽・月等の誕生 第七回 スサノオとアマテラスの誓約（うけひ）と天の石屋戸・・・天上世界訪問 第八回 大気都比売（おほげつひめ）の神話と八俣の大蛇・・・怪物退治と美女獲得 第九回 因幡の素戔と八十神（やそがみ）の迫害・・・地下世界訪問 第十回 八千矛（やちほこ）の神、大国主神（おほくにぬし）と少名毘古那神（すくなびこな）・・・妻問（つまど）いの歌物語と大小の神による国づくり。 第十一回 天若日子（あめわかひこ）と返矢（かえしや）・・・ニムロッドの矢 第十二回 猿田毘古（さるたびこ）と天孫降臨及び天宇受売（あめのうずめ）・・・天からの降臨する道を塞ぐ神と道を拓く神・・・照り輝く星の神々。 第十三回 木花之佐久夜毘売（このはなのさくやびめ）の火中出産・・・火と火を司る天つ神。 第十四回 海幸・山幸の争いと綿津見宮（わたつみのみや）訪問・・・海底世界訪問 第十五回 まとめ</p> <p>以上の内容で行い、適宜、外国の神話等と比較して説明し、受講者と一緒に神話の意味・解釈について考えたい。受講者は、毎回、出席も兼ねた小レポートに講義に関する質問等を書いて、授業の終わりごとに提出する。また、日本神話には、星座の神話が多数存在しているという講義者の研究（参考図書参照）について、神話の読解という観点から、星座神話として理解可能な場面に応じて解説していく。神話は想像力の世界なので、受講者も古代人に負けないだけの豊かな想像力を発揮して神話の醍醐味を味わって欲しい。</p>								